

シーズのテーマ: 進化的社会経済学

【研究者】

氏名: 八木 紀一郎(やぎ きいちろう)

学部: 経済学部

学科: 経済学科

職階: 特任教授

連絡先: ※下段、お問い合わせ先をご参照ください。

【研究の概要】

すべての人文・社会科学と同様に、社会経済学(political economy)にとっても、進化的な観点(evolutionary view)を取り込むことが喫緊の課題である。それに拠ることによって、従来、現実からの抽象によって類型(タイプ)やモデルを構成し、それにもとづいた思考実験の領域にとどまった科学的探究を現実に還帰させることができるからである。私は、これまで経済学史・経済思想・社会経済学の領域で研究をつづけてきたが、残りの研究生活の主力を「遅れてきた科学革命」というべきこの課題にささげたい。

【研究の特長・従来技術との比較】

当然のことに従来の経済理論・思想・哲学を遺産として用いるが、主要には科学革命にかんするビジョンの探究である。

【研究の状況】



【課題、今後の方向性】

多くの研究者と協力して進める。

【用途・効果】

社会科学の発展

【関連資料・特許・文献・参考事項】

八木「進化経済学の現在」阪上孝編『変容するダーウィニズム』京都大学学術出版会、2003年。